

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立西小学校] 担当教諭名[早川 実宝] (5年2組 31名)

交流相手国[台湾]

海外学校名[Wen Ya Elementary School] 担当教諭名[Shu-Ting Dai, Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	いろいろな国の人と交流しよう	30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	食と平和
絵に込めたメッセージ	私たちは平和な日本に生まれたが、世界では日々戦争や紛争で苦しんでいる人々がいる。人々が生きていく上で食は欠かせないものの一つだ。戦後70年を迎える今年、世界中が平和になるようにというメッセージをこめて描いた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に、交流することで子ども達にとって、外国が身近になり、もっと国際交流・国際理解をしたいという願いをもつことができた。 ・協力して作品を完成させたことが自信になった。・英語に対する興味関心が高まったことも成果と言える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせや近況報告など簡単なことをやりとりしたいと思うが、教師の英語力不足で十分やり取りできなかった。 ・互いの学校の行事や忙しさなどで順調に進まなかった。もう少し計画的に進められれば良かったと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・相手国の台湾はもちろんのこと、世界に対する興味関心が高まり、もっと知りたいという意識を持つようになった。 ・言葉は違っても、なんとかやりとりできる。また、外国の子ども達との交流は楽しいと感じるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプも初めて経験したが、もっと難しいと考えていたが、英語担当教師がいなくても伝えられる部分が多かったので、もっと早くスカイプすればよかったと思った。外国との交流はハードルが高いと考えていたが、そのハードルは低くなった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月 10月	個人個人の自己紹介写真をフォーラムにアップした。 グループでテーマを決め、日本・石川県・金沢市・学校について紹介	フォーラムに返事が帰ってくるのを楽しみにしていた。返事が帰ってきたことでつながっていることを実感し、喜んだ。	総合 7
テーマ学習	10月 11月	相手国の台湾について調べ活動を行った。クラス内で調べたことを交流した。	台湾に関する図書資料が少なく調べるのに苦労した。インターネットで調べて、交流したことで相手国について興味を持てた。	総合 5
構図決定	11月	まず、各自が構図の案を考え、それをグループごとにまとめて、クラスでいくつかの構図の案の中から3通りに絞って相手とスカイプで決定した。	食についてのイメージは十分広げられたが、平和についてのイメージがあまり広がらなかった。互いの第1候補が一致して喜んでいてた。	総合 8
壁画制作	12月	同じ大きさの紙に下書きし、それをカーボン紙で写し取り、グループで担当を決めて色を塗った。	大変楽しそうに取り組んでいた。絵がとともダイナミックで出来上がっていく過程を楽しんだ。また、互いに協力しながら進めていた。	総合 8
鑑賞・振り返り	3月	学年で絵を見合った。2クラスで互いにテーマが違ったので、どんな絵を描いたのかじっくり鑑賞した。	描いてあるもので、よくわからない物があったので聞いてみたいという思いを持てた。	総合 2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	テーマにあった絵の内容を考える際に、話し合いの中で自文化を肯定的に理解している発言が多く見られた。
異文化の理解	A	4	フォーラムで文雅小学校の紹介を見た際に、自分たちとの共通点や相違点をしっかり見つけていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	自国の紹介のビデオ作成をした際に、それぞれが実物を用意したり、絵を描いたりして伝えた様子から感じた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	台湾について調べ学習を進める際に、学校図書館の中に資料がほとんどなかったがインターネットで情報収集できた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	相手のクラスの子ども達に、クリスマスカードや年賀状を作成した際に、喜んでもらえるようにと丁寧に作成していた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	壁画を実際に制作する際に、実行委員が中心となり、スケジュールや役割分担などをしうまく進めていた。
学習を追究する意欲	B	3	全員で一つの壁画を完成させるため、多くの子は意欲的だったが、一部の子は意欲的とは言えなかった様子も見られた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	各自が描いた絵の案は、テーマをどう解釈したのかがよく伝わってきた。
作品を鑑賞する力	B	3	最後のレポートはどの子も A4 一枚にびっしり感想を書いていた。作品に込められたメッセージをしっかり考えていた。